企画展

鋼の鍛錬術師

―宝飯郡国府村　鋤柄勘左衛門―

令和8年
12月5日(土)

令和9年
▸▸ 1月17日(日)

観覧料 **無料**

観覧時間　9:00~17:00
休 館 日　月曜日(ただし、1月11日の成人の日は開館)
　　年末年始(12月28日~1月4日)

〈 展示解説 〉

1 令和8年 12月6日(日)14:00~

2 令和9年 1月9日(土)14:00~

太刀　銘 奉上三河国宝飯国府住鋤柄勘左エ門尉源国佐作／
嘉永五年壬子六月吉日（大社神社所蔵）

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM
豊川市桜ケ丘ミュージアム

企画展

鋼の鍛錬術師

―宝飯郡国府村　鋤柄勘左衛門―

鉄の加工法は、切削・鋳造・鍛造の三つに大別される。なかでも鍛造は、熱した鋼を幾度も叩いて折り返すことで組織を緻密にし、強靭な刃へと昇華させる「鋼の鍛錬術」である。

かつての農村には必ず鍛冶屋が存在した。鋤や鍬、鎌など営農に不可欠な道具の制作と修理を日常的に行ない、農業生産と地域社会の基盤を支えていたからである。

宝飯郡国府村（豊川市国府町）の鋤柄家もそうした鍛冶屋だったが、近世後期に至って刀鍛冶へ転じると、その技を三代にわたり受け継ぎ、刀剣制作に心血を注いだ。本展は、その三代―国佐（くにすけ）・国武（くにたけ）・武宣（たけのぶ）―が遺した冴然たる作品群を一堂に集めて紹介するものである。今回展示する資料の多くは、各地に散らばり伝承されてきたものだ。それが今再び豊川の地へと帰って来る。いわば里帰りの機会であり、鋤柄刀の展観は、彼らを生んだこの地においてこそ、ひときわ深い意義を有するといえるだろう。

短刀　銘 齊（膺）懲刀 正五位源通旭為従四位源韶邦朝臣令鍛之／三州住耿々齊国武明治三年二月日（個人蔵）

初代 国佐

刀　銘 三州住鋤柄国佐／文久二壬戌八月吉日（岡崎市美術博物館所蔵）

二代 国武

刀　銘 三州住耿々齊国武／慶応四辰年（個人蔵）

三代 武宣

刀　銘 三州住鋤柄武宣／慶応元丑歳（個人蔵）

会期中のイベント　参加無料

歴史セミナー

①獣害の地域史　-熊害（ゆうがい）相次ぐいま、地域史を振り返る-

日時　12月13日㈰14:00～15:30
申込　11月14日㈯9:00～（電話・窓口）

②国府の刀工 鋤柄勘左衛門
-地元に残る作例とその役割について-

日時　1月10日㈰14:00～15:30
申込　12月5日㈯9:00～（電話・窓口）

③とよかわ相撲余話　-近世編、近現代編-

日時　1月17日㈰14:00～15:30
申込　12月12日㈯9:00～（電話・窓口）

〈共通事項〉　講師：当館学芸員　定員：35名（先着）

ミュージアムコンサート

①津軽三味線合奏【相槌】-共鳴する鋼と三弦の異彩-

日時　12月20日㈰ ①11:30～ ②13:30～
奏者　双子魂（羽田兄弟）

②和楽器ライブ「刀-KATANA-と刃-JIN-の響宴」

日時　1月16日㈯ ①11:30～ ②13:30～
奏者　和楽器ユニット 刃-J.I.N-

〈共通事項〉　定員：50名（先着、申込不要）

[交通案内]

電車 ● JR飯田線「豊川」駅、名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分
バス ● 豊橋駅東口バスのりばから豊鉄バスで「イオン豊川店」下車徒歩約5分
　　JR豊川駅前のりばからコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで、「桜ヶ丘ミュージアム」下車徒歩1分
車　● 東名高速「豊川I.C.」から約10分（駐車場約150台：無料／公園と共用）
※土日は混雑が予想されるため、公共交通機関の利用や乗り合せにご協力ください。

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM
豊川市桜ヶ丘ミュージアム
〒442－0064 愛知県豊川市桜ケ丘町79－2
TEL（0533）85-3775／FAX（0533）85-3776

市民呈茶のご案内

【会場】心々庵「立礼席」　【料金】一服400円
【日程】①令和8年12月12日（土）裏千家：抹茶
　　②令和9年 1月 9日（土）売茶流：煎茶
　　③令和9年 1月16日（土）表千家：抹茶
　　④令和9年 1月17日（日）宗偏吉田流：抹茶
【時間】10:00～15:00

次回の展覧会は…
第62回 豊川市民展　令和9年2月23日(火)～3月21日(日)